



ありのままがいい。  
旅も、人も。

ひろがれ！  
みらいの  
農ホホ水

認定NPO法人  
遠野山・里・暮らし  
ネットワーク  
(岩手県 遠野市)

「この土地に息づく人々の暮らしが資源なんです」  
遠野山・里・暮らしネットワーク会長の菊池新一さんは語る。  
彼らが挑戦するのは、農業体験や農家民宿にとどまらず、まちのふだんの暮らしに絡めてもらう日本のグリーン・ツーリズムの新しいモデルづくりだ。  
その目玉が、「立ち寄り農家」。農家ごとのいろんな暮らしぶりや、旅行者が体験しながら周遊できる仕組みだ。また、増えている外国人観光客への対応を進めるほか、積極的にやっていくという。  
「何より大切にしているのは、旅行者との交流を通じて、ここで暮らす人たちが遠野に誇りを感じてもらいたいこと。それがその地域のファンを広げ、その地域で暮らす人が、地元の素晴らしさに気づくこと。それがその地域のファンを広げ、みらいを育てるいちばんのチカラになっていく。」  
農林水産業みらい基金は、助成金を通じて、遠野市や周辺地域・被災地まで含めた新しいグリーン・ツーリズムへの挑戦をサポートしている。

